



資 料 編

塾卒業者数の変遷

〔ハイテク塾・長崎伝習所〕

昭和61年度	塾長	卒業生数	男性	女性
海洋開発塾	黒瀬 正行	23名	23名	一名
流通塾	宮原 泰治郎	24名	21名	3名
バイオ塾	鴨川 秀俊	31名	31名	一名
工業システム開発塾	高岡 則彦	22名	21名	1名
メカトロニクス塾	平田 泰郎	21名	20名	1名
海洋システム塾	利光 一紀	23名	23名	一名
都市デザイン塾	岡林 隆敏	26名	24名	2名
観光開発塾	岩永 明士	21名	20名	1名
建築塾	鉄川 進	20名	20名	一名
基礎講座塾	伝習所事務局	33名	26名	7名
総 数	10塾	244名	229名	15名

昭和62年度	塾長	卒業生数	男性	女性
海洋開発塾	高橋 和雄	17名	17名	一名
AI塾	谷口 良輔	15名	13名	2名
マイコン制御塾	小笹 裕	12名	12名	一名
建築塾	池田 賢一	18名	15名	3名
ニュービジネス研究塾	久保 一雄	27名	27名	一名
都市デザイン塾	浜永 孝雄	32名	27名	5名
イベント研究塾	田上 俊一	25名	25名	一名
来庵交流塾	ブライアン・バーカフニ	27名	12名	15名
'87紅塾	竹中 晴美	23名	一名	23名
長崎食文化塾	本田 時夫	21名	8名	13名
総 数	10塾	217名	156名	61名

昭和63年度	塾長	卒業生数	男性	女性
ニュービジネス研究塾	下山 重次	28名	24名	4名
長崎グランドデザイン塾	黒瀬 正行	17名	17名	一名
ニューメディア研究塾	木室 和孝	14名	13名	1名
長崎都市探検塾	吉岡 宣孝	23名	13名	10名
シティーリニューアル塾	大草 一俊	22名	17名	5名
来庵交流塾	林 敏幸	20名	9名	11名
'88紅塾	竹中 晴美	24名	一名	24名
長崎CM塾	中村 聡	14名	10名	4名
塾「花集」	北郷 雅子	15名	7名	8名
伝習所おまかせ塾	伝習所事務局	一名	一名	一名
総 数	10塾	177名	110名	67名

平成元年度	塾長	卒業生数	男性	女性
カード研究塾	山下 国広	22名	19名	3名
経営活性塾	前田 慎一郎	20名	15名	5名
造船塾	坂本 伸慈	17名	17名	一名
都市演出研究塾	大草 一俊	46名	32名	14名
長崎工芸塾	竹田 克人	19名	14名	5名
風力発電研究塾	平井 隆市	25名	20名	5名
“まちづくりと商店街”塾	佐藤 秀人	27名	15名	12名
総 数	7塾	176名	132名	44名

平成2年度	塾長	卒業生数	男性	女性
風力発電研究塾	平井 隆市	26名	22名	4名
長崎・サウンドデザイン塾	吉岡 宣孝	19名	10名	9名
都市夢塾	林 一馬	46名	30名	16名
長崎工芸塾	浜脇 昌盛	17名	11名	6名
長崎観光・物産塾	下山 重次	21名	18名	3名
港元気塾	平山 敏	28名	25名	3名
三重トピア塾	田川 茂	16名	16名	一名
総 数	7塾	173名	132名	41名

〔長崎伝習所〕

平成3年度	塾長	卒業生数	男性	女性
長崎・サウンドデザイン塾	吉岡 宣孝	23名	12名	11名
商店GUYSクリエイティブ・ネットワーク塾	山下 国広	20名	20名	一名
こどもたちの夢広場塾	猪山 勝利	32名	25名	7名
都市夢塾Ⅱ	渡部 雅弘	56名	43名	13名
来庵交流塾	岡部 道夫	25名	16名	9名
リサイクル文化研究塾	糸山 景大	45名	31名	14名
稲佐山元気塾	松原 一成	16名	14名	2名
総 数	7塾	217名	161名	56名

平成4年度	塾長	卒業生数	男性	女性
リサイクル文化研究塾	糸山 景大	37名	28名	9名
サウンドデザイン塾	吉岡 宣孝	18名	10名	8名
こどもたちの夢広場塾	猪山 勝利	46名	30名	16名
長崎都市夢塾	上野 皓士	46名	32名	14名
国際交流塾	牛嶋 洋一郎	82名	47名	35名
居留地未来塾	西 武宏	47名	39名	8名
港再生塾	浦川 貴隆	29名	26名	3名
総 数	7塾	305名	212名	93名

平成5年度	塾長	卒業生数	男性	女性
長崎都市夢塾	宮原 和明	53名	38名	15名
リサイクル文化研究塾	糸山 景大	38名	31名	7名
居留地未来塾	黒崎 邦博	41名	31名	10名
国際交流塾	牛嶋 洋一郎	100名	33名	67名
エコ・デザイン研究塾	渡部 雅弘	37名	27名	10名
遊びデザイン塾	藍葉 忠之	18名	12名	6名
文化・地域活性化塾	猪山 勝利	25名	13名	12名
ふれあい福祉21塾	牛津 信忠	35名	13名	22名
総 数	8塾	347名	198名	149名

平成6年度	塾長	卒業生数	男性	女性
国際交流塾	牛嶋 洋一郎	110名	43名	67名
おんな達の素朴な？塾	磯田 朋子	36名	一名	36名
NG発見塾	有馬 一郎	26名	23名	3名
よか・余暇・環境デザイン塾	前田 卓郎	19名	9名	10名
長崎表現塾	横田 嗣	18名	15名	3名
いのち・くらし・共育塾	山本 いま子	31名	14名	17名
都夢創野塾	藍葉 忠之	15名	9名	6名
文化ニューウェイブ塾	猪山 勝利	23名	10名	13名
エコ・デザイン塾	渡部 雅弘	27名	20名	7名
リサイクル文化研究塾	糸山 景大	33名	21名	12名
居留地未来塾	宮本 博文	41名	35名	6名
都市夢塾	野田 茂	32名	20名	12名
総 数	12塾	411名	219名	192名

平成7年度	塾長	卒業生数	男性	女性
都市夢塾	阿野 史子	40名	21名	19名
エコ・デザイン研究塾	渡部 雅弘	22名	17名	5名
国際交流塾	牛嶋 洋一郎	166名	59名	107名
出島ルネッサンス塾	松原 一成	17名	12名	5名
ソフトエネルギー研究塾	平井 隆市	27名	21名	6名
フィールド自遊塾	前田 卓郎	28名	16名	12名
NG発見塾	有馬 一郎	25名	20名	5名
上海塾	藍葉 忠之	28名	19名	9名
おんな達の素朴な？塾	二宮 節子	32名	一名	32名
平成の海援隊塾	柴田 恵司	30名	21名	9名
都夢創野塾	浜田 勇	34名	19名	15名
いのち・くらし・共育塾	山本 いま子	22名	10名	12名
リサイクル文化研究塾	糸山 景大	21名	14名	7名
総 数	13塾	492名	249名	243名

平成8年度	塾長	卒業生数	男性	女性
都市夢塾	山口 美智子	39名	25名	14名
リサイクル文化研究塾	糸山 景大	23名	14名	9名
国際交流塾	牛嶋 洋一郎	263名	98名	165名
エコ・デザイン研究塾	杉山 和一	22名	17名	5名
いのち・くらし・共育塾	山本 いま子	41名	17名	24名
フィールド自遊塾	前田 卓郎	25名	13名	12名
おんな達の素朴な？塾	森 郁子	40名	一名	40名
都夢創野塾	柴田 貞志	15名	7名	8名
出島ルネッサンス塾	松原 一成	24名	17名	7名
平成の海援隊塾	早田 猛	29名	17名	12名
21世紀長崎産品塾	徳勝 盛敏	19名	14名	5名
ドリーム&エンジョイライブラリー塾	川口 綾子	58名	13名	45名
総 数	12塾	598名	252名	346名

平成9年度	塾長	卒業生数	男性	女性
都市夢塾	中山 千賀子	35名	25名	10名
リサイクル文化研究塾	糸山 景大	32名	12名	20名
エコ・デザイン研究塾	杉山 和一	22名	15名	7名
国際交流塾	牛嶋 洋一郎	290名	112名	178名
出島ルネッサンス塾	松原 一成	22名	17名	5名
ドリーム&エンジョイライブラリー塾	川口 綾子	64名	44名	20名
NAGASAKIキラメキ☆シネマ塾	溝口 昌喜	18名	6名	12名
なんでんかんでん都市(まち)のデジタル探検隊塾	小久保 徳子	55名	36名	19名
総 数	8塾	538名	267名	271名

平成10年度	塾長	卒業生数	男性	女性
坂のまちなんでんかんでん研究塾	栗原 正紀	60名	41名	19名
平成の紅塾	竹中 晴美	16名	一名	16名
コーポラティブ住まい塾	塩田 真由美	21名	13名	8名
NAGASAKIキラメキ☆シネマ塾	溝口 昌喜	18名	12名	6名
ネットワークコミュニティ「都市のデジタル探検隊塾」	小久保 徳子	38名	24名	14名
夢いっぱい！としょかん塾	尾崎 寿美	34名	8名	26名
出島ルネッサンス塾	松原 一成	19名	13名	6名
国際交流塾	牛嶋 洋一郎	295名	127名	168名
総 数	8塾	501名	238名	263名

平成11年度	塾長	卒業生数	男性	女性
ごみとくらし研究塾	山本 幸代	46名	19名	27名
長崎くんち塾	安達 征治	87名	80名	7名
記憶の中の長崎案内塾	太田 恭子	29名	18名	11名
坂のまちなんでんかんでん研究塾	栗原 正紀	56名	37名	19名
NAGASAKIキラメキ☆シネマ塾	溝口 昌喜	17名	10名	7名
ネットワークコミュニティ「インターネット探検塾」	小久保 徳子	52名	30名	22名
夢いっぱい！としょかん塾	尾崎 寿美	48名	12名	36名
出島ルネッサンス塾	松原 一成	18名	11名	7名
総 数	8塾	353名	217名	136名

平成12年度		塾長	卒業生数	男性	女性
長崎ぶらぶら踊り塾	「行」	宗 保孝	78名	24名	54名
バグパイプ塾	「行」	廣高 信彦	26名	10名	16名
ヤンコ踊り塾	「行」	陳 東華	53名	7名	46名
歩いて楽しむ長崎まちづくり塾	「市」	矢川 正男	29名	20名	9名
エコシティ研究塾	「市」	宮原 和明	33名	24名	9名
ごみとくらし研究塾	「市」	山本 幸代	41名	12名	29名
記憶の中の長崎案内塾	「市」	藤城 薫	22名	14名	8名
総 数		7塾	282名	111名	171名

※平成12年度から従来の「市民提案型」の塾に、「行政提案型」の塾を加え、市民と行政が協働による、魅力あるまちづくり事業を展開している。
「市民提案型」を「市」、「行政提案型」を「行」と表記している。

平成13年度		塾長	卒業生数	男性	女性
観光長崎バリアフリー創造塾	「市」	後藤 恵之輔	26名	23名	3名
わが町の達人・名人さがし塾	「市」	入枝 一男	21名	14名	7名
エコシティ研究塾	「市」	宮原 和明	33名	26名	7名
歩いて楽しむ長崎まちづくり塾	「市」	矢川 正男	32名	23名	9名
出島事始め塾	「行」	宮川 雅一	19名	11名	8名
<small>にいまるまるいち</small> 2001女性塾	「行」	脇山 順子	18名	一名	18名
<small>げんき</small> 長崎源木発見塾	「行」	赤瀬 憲市	32名	25名	7名
くらしと環境研究塾	「行」	木村 一生	53名	22名	31名
長崎ぶらぶら踊り塾	「行」	宗 保孝	116名	13名	103名
ヤンコ踊り塾	「行」	陳 東華	80名	7名	73名
バグパイプ塾	「行」	廣高 信彦	20名	8名	12名
総 数		11塾	450名	172名	278名

平成14年度		塾長	卒業生数	男性	女性
2002長崎サウンドデザイン塾	「市」	吉岡 宣孝	14名	5名	9名
命とからだ探検隊塾	「市」	安日 泰子	61名	4名	57名
エコな街づくり研究塾	「市」	李 桓	35名	27名	8名
観光長崎バリアフリー創造塾	「市」	後藤 恵之輔	28名	25名	3名
わが町の達人・名人さがし塾	「市」	入枝 一男	25名	12名	13名
「長崎刺繍」再発見塾	「行」	嘉勢 路子	19名	一名	19名
長崎の染塾	「行」	砂崎 素子	28名	1名	27名
長崎やけんステンドグラス塾	「行」	橋口 都	17名	3名	14名
河川環境研究塾	「行」	富工 妙子	45名	27名	18名
ごみ夢中塾	「行」	矢野 博巳	32名	10名	22名
出島事始め塾	「行」	宮川 雅一	33名	17名	16名
<small>にいまるまるいち</small> 2001女性塾	「行」	脇山 順子	15名	一名	15名
<small>げんき</small> 長崎源木発見塾	「行」	赤瀬 憲市	45名	25名	20名
長崎ぶらぶら踊り塾	「行」	宗 保孝	77名	8名	69名
ヤンコ踊り塾	「行」	陳 東華	84名	9名	75名
バグパイプ塾	「行」	廣高 信彦	28名	12名	16名
総 数		16塾	586名	185名	401名

平成15年度		塾長	卒業生数	男性	女性
生き生き園芸長崎塾	「市」	井石 八千代	44名	11名	33名
No!ドメスティック・バイオレンス塾	「市」	悦 晴美	32名	4名	28名
長崎まちづくり事業化研究塾	「市」	増倉 康久	25名	7名	18名
長崎ビジネス活性化塾	「市」	大崎 孝徳	34名	8名	26名
環境ネットワークながさき塾	「市」	宮原 和明	41名	24名	17名
長崎銀細工研究塾	「行」	酒井 美枝	20名	3名	17名
長崎陶芸復興塾	「行」	藤原 清一	33名	7名	26名
「長崎刺繍」再発見塾	「行」	嘉勢 路子	27名	一名	27名
長崎の染塾	「行」	平田 素子	33名	一名	33名
長崎やけんステンドグラス塾	「行」	小笹 悦二	16名	3名	13名
新・竹取物語塾	「行」	森 昇	26名	16名	10名
生ごみシェイパーズ塾(生ごみ減らし隊)	「行」	山口 八重子	22名	6名	16名
河川環境研究塾	「行」	富工 妙子	45名	28名	17名
出島事始め塾	「行」	宮川 雅一	31名	17名	14名
総 数		14塾	429名	134名	295名

平成16年度		塾長	卒業生数	男性	女性
長崎チェス塾	「市」	牛嶋 洋一郎	31名	24名	7名
「いつも青春」塾	「市」	田口 育子	14名	4名	10名
長崎の歴史再発見塾	「市」	小嶺 昭典	38名	23名	15名
No!ドメスティック・バイオレンス塾	「市」	悦 晴美	28名	5名	23名
長崎まちづくり事業化研究塾	「市」	矢川 正男	30名	24名	6名
環境ネットワークながさき塾	「市」	宮原 和明	45名	25名	20名
長崎の食 探検塾	「行」	穴戸 直嗣	19名	3名	16名
生きもの再生塾	「行」	引地 秀司	44名	26名	18名
新・竹取物語塾	「行」	森 昇	28名	20名	8名
生ごみシェイパーズ塾(生ごみ減らし隊)	「行」	山口 八重子	63名	19名	44名
総 数		10塾	340名	173名	167名

平成17年度		塾長	卒業生数	男性	女性
長崎の産業文化今昔物語塾	「市」	余語 保博	25名	23名	2名
長崎弁研究塾	「市」	田川 文夫	41名	19名	22名
メディエーション(対話術)研究塾	「市」	梅枝 眞一郎	22名	16名	6名
長崎チェス塾	「市」	牛嶋 洋一郎	25名	16名	9名
長崎の歴史再発見塾	「市」	小嶺 昭典	37名	24名	13名
オブジェ塾	「行」	川西 庄次	17名	16名	1名
長崎の食 探検塾	「行」	穴戸 直嗣	31名	3名	28名
生きもの再生塾	「行」	引地 秀司	36名	21名	15名
生ごみシェイパーズ塾(生ごみ減らし隊)	「行」	山口 八重子	73名	20名	53名
総 数		9塾	307名	158名	149名

平成18年度		塾長	卒業生数	男性	女性
ちよいわる団塊世代の面白発見塾	「市」	新田 照夫	17名	10名	7名
長崎)月の文化研究塾	「市」	山崎 讓	16名	4名	12名
舞台裏おじゃま塾	「市」	柘田 尚子	13名	4名	9名
長崎の産業文化今昔物語塾	「市」	余語 保博	23名	16名	7名
長崎弁研究塾	「市」	田川 文夫	42名	18名	24名
メディエーション研究塾(対話による問題解決術)	「市」	梅枝 眞一郎	33名	19名	14名
市民オブジェ塾	「行」	川西 庄次	17名	17名	一名
パートナーシップ塾	「行」	西岡 由香	13名	2名	11名
長崎出島楽坊塾	「行」	林 弘美	43名	6名	37名
総 数		9塾	217名	96名	121名

平成19年度		塾長	卒業生数	男性	女性
長崎うんすんかるた塾	「市」	大場 勝彦	31名	16名	15名
新長崎市の史跡探訪塾	「市」	田端 光男	54名	37名	17名
長崎ステーキホルダー会議塾	「市」	杉山 和一	41名	23名	18名
CM伝塾	「市」	吉光 正絵	25名	5名	20名
ながさき・ぶらんど創新(イノベーション)塾	「市」	谷口 竜一	42名	30名	12名
残しておきたい長崎ポートレート塾	「市」	矢川 正男	26名	23名	3名
長崎)月の文化研究塾	「市」	山崎 讓	12名	2名	10名
舞台裏おじゃま塾	「市」	柘田 尚子	12名	5名	7名
メディエーション研究塾～紛争解決から学ぶ快適コミュニケーション術～	「市」	梅枝 眞一郎	25名	12名	13名
市民オブジェ塾	「行」	川西 庄次	16名	10名	6名
パートナーシップ塾	「行」	西岡 由香	17名	3名	14名
長崎出島楽坊塾	「行」	西崎 寛弘	46名	7名	39名
総 数		12塾	347名	173名	174名

平成20年度		塾長	卒業生数	男性	女性
発見！実現！体験楽習塾	「市」	吉田 伸吾	46名	27名	19名
おはなし音楽塾～親子で楽しむ音楽ものがたり～	「市」	池田 祐希	18名	2名	16名
「エコ名人を探せ！」塾	「市」	佐藤 恵	23名	6名	17名
長崎うんすんかるた塾	「市」	大場 勝彦	38名	17名	21名
新長崎市の史跡探訪塾	「市」	田端 光男	56名	37名	19名
長崎ESTステーキホルダー会議塾	「市」	杉山 和一	33名	23名	10名
ながさき・ぶらんど物語(イノベーション)塾	「市」	谷口 竜一	24名	16名	8名
CM伝塾	「市」	吉光 正絵	32名	4名	28名
総 数		8塾	270名	132名	138名

平成21年度		塾長	卒業生数	男性	女性
川さるく森・川・里・海塾	「市」	兵働 馨	36名	18名	18名
長崎洋館音楽舞踏塾	「市」	槇山 智子	24名	11名	13名
発見！ながさき遺産塾	「市」	川瀬 智子	18名	10名	8名
発見！実現！体験楽習塾	「市」	吉田 伸吾	53名	32名	21名
「エコ名人を探せ！」塾	「市」	佐藤 恵	26名	11名	15名
「龍馬伝と幕末人物」塾	「行」	三丸 正紀	59名	41名	18名
在京長崎応援団塾～長崎を外から見る～	「行」	深野 浩平	30名	24名	6名
総 数		7塾	246名	147名	99名

平成22年度		塾長	卒業生数	男性	女性
「ながさきポルトガル」知る知る塾	「市」	山口 克己	39名	18名	21名
長崎ビューポイント探訪塾	「市」	村田 明久	29名	19名	10名
川さるく 森川里海塾	「市」	兵働 馨	21名	12名	9名
長崎洋館音楽舞踏塾	「市」	槇山 智子	26名	16名	10名
発見！ながさき遺産塾	「市」	川瀬 智子	27名	18名	9名
「龍馬伝と幕末人物」塾	「行」	三丸 正紀	54名	35名	19名
在京長崎うまかもん塾	「行」	片山 六郎	49名	37名	12名
総 数		7塾	245名	155名	90名

平成23年度		塾長	卒業生数	男性	女性
ナガサキポルトガルシルシル塾	「市」	山口 克己	27名	11名	16名
長崎ビューポイント探訪塾	「市」	村田 明久	21名	13名	8名
坂のまち長崎なのに自転車塾	「市」	村里 静則	60名	49名	11名
孫文・梅屋庄吉と明治大正長崎事情塾	「市」	村崎 春樹	41名	24名	17名
長崎の町ねこ調査隊塾	「市」	中島 由美子	30名	9名	21名
在京長崎うまかもん塾	「行」	片山 六郎	25名	19名	6名
総 数		6塾	204名	125名	79名
卒業塾・卒業生数総計		243塾	8,672名	4,533名	4,139名

フォローアップ塾の概要

目的：市民のまちづくりに関する研究、実践活動の振興を図り、もって長崎伝習所事業の目的である市民と行政のネットワークの形成に寄与するため、まちづくり市民団体に対し、長崎伝習所フォローアップ補助金(以下「補助金」という。)を交付する

概要：長崎伝習所「塾」事業において過去に採択されたテーマについて研究、実践活動を行うことを規約等に定めた団体で、かつ次の各号の全部に該当する団体をいう。

(1)その構成員が 10 名以上であるもの

(2)年間を通して定期的な活動をす
る見込みのあるもの

(3)その活動が公益的かつ人材育成
に寄与するもの

沿革：平成 6 年度に制度を創設「長崎伝習所まちづくり市民団体活動費補助金」、平成 20 年度に補助率などを改定し、名称も「長崎伝習所フォローアップ補助金」とした。

審査：運営委員会において、審査を行い、適切と認められたものに対して補助金を交付している。

名称	長崎伝習所フォローアップ補助金
補助金額	1 団体 1 回目 20 万円を限度
	1 団体 2 回目 10 万円を限度
	補助対象経費から当該事業に係る収入を差し引いたものの 4/5 以内
補助制限	1 団体 2 回限り

【交付実績】

年 度	塾 名
H8	居留地未来塾
H8	上海塾
H8	N G 倶楽部
H8	ソフトエネルギー研究センター
H9	N G 倶楽部
H9	ソフトエネルギー研究センター
H9	平成の海援隊塾
H9	都夢創野塾
H10	平成の海援隊塾
H10	リサイクル文化研究塾
H11	国際交流塾
H12	国際交流塾
H12	長崎くんち塾
H12	NAGASAKI キラメキ☆シネマ塾
H12	夢いっぱい！図書館塾
H12	出島ルネッサンス塾
H13	長崎くんち塾
H13	夢いっぱい！図書館塾
H13	出島ルネッサンス塾
H14	ごみとくらし研究塾
H14	くらしと環境研究塾
H14	歩いて楽しめまちづくり塾
H15	ごみとくらし研究塾
H15	くらしと環境研究塾
H15	観光長崎バリアフリー創造塾
H15	わが町の達人・名人探し塾
H15	長崎ぶらぶら踊り塾
H15	ヤンコ踊り塾
H15	バグパイプ塾
H16	観光長崎バリアフリー創造塾
H16	わが町の達人・名人探し塾
H16	ヤンコ踊り塾

H16	河川環境研究塾
H16	出島事始め塾
H17	河川環境研究塾
H17	出島事始め塾
H17	No!ドメスティク・ハイレンス塾
H17	長崎まちづくり事業家研究塾
H17	環境ながさきネットワーク塾
H17	長崎節木塾
H18	No!ドメスティク・ハイレンス塾
H18	長崎まちづくり事業家研究塾
H18	環境ながさきネットワーク塾
H18	長崎節木塾
H18	長崎チェス塾
H18	長崎の歴史再発見塾
H18	長崎の食探検塾
H18	生きもの再生塾
H18	生ごみシェイパーズ塾
H19	長崎チェス塾
H19	長崎の食探検塾
H19	生ごみシェイパーズ塾
H19	ちょいわる団塊世代の面白発見塾
H19	長崎弁研究塾
H20	残しておきたい長崎ポートレート塾
H20	舞台裏おじゃま塾
H20	メディエーション研究塾
H21	残しておきたい長崎ポートレート塾
H21	長崎うんすんかるた塾
H21	長崎ESTステークホルダー会議塾
H21	長崎イノベーション塾
H21	CM伝塾
H21	おはなし音楽塾

H22	長崎ESTステークホルダー会議塾
H22	長崎イノベーション塾
H22	おはなし音楽塾
H22	「エコ名人を探せ!」塾
H23	「エコ名人を探せ!」塾
H23	川さるく森川里海塾
H23	長崎洋館音楽舞踏塾



九州創発塾の概要

九州創発塾とは、九州に根ざす7新聞社において、自立した地域づくり推進のため、平成5年に「九州平成義塾」、平成12年から「九州発見塾」、平成19年から「九州創発塾～7つのシナジーが切り拓く未来へ」を開催しています。

県境を越えた地域連携・人材交流をとおりて地域が抱える課題を共有し、ともに行動する機会を提供。塾生間の自主的ネットワーク構築など、その意義を内外に広く顕示しています。

「創発」とは、「複数の部分が融合することで、単純な総和にとどまらない新しい高度な秩序やシステムが生まれること」を意味し、個性豊かな九州の7県が連携することで、及びもつかなかったシナジーが生み出され、豊かで活力に溢れた未来が切り開かれるような願いが込められています。

第5回・熊本大会は、「九州から行動する、地域環境との共生～明日へつながる社会の実現に向けて」をテーマに、九州各地から約400名が塾生として集い、九州7県による地域連携や九州の将来について議論を交わしました。

長崎伝習所からも、塾生のネットワークを広げるため、また、スキルアップを目的に、10人が参加しました。

熊本大会概要

テーマ：九州から行動する、地域環境との共生～明日へつながる社会の実現に向けて

会期：平成23年9月9日(金)～10日(土)

会場：ホテル日航熊本(熊本市)ほか

主催：九州新聞社7社

共催：九州経済連合会、

中小企業基盤整備機構九州支部

【日 程】

9月9日(金)

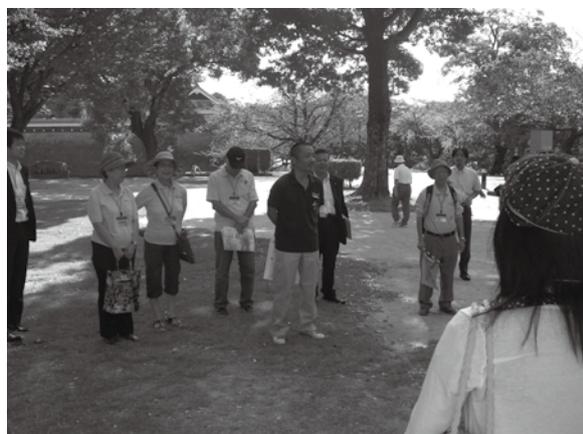
10:00	開会式
10:25	熊本大会趣旨説明 茂木健一郎氏(脳科学者)
11:00	基調講演 「震災後の日本の進路」 竹中平蔵氏(慶応義塾大学総合政策学部教授・グローバルセキュリティ研究所所長)
13:00	クロストーク 「これからの日本のかたち～熊本の環境事例を交えて」 竹中平蔵氏 茂木健一郎氏 宮原美智子氏(NPO 法人 くまもと温暖化対策センター理事長)
14:35	中小企業基盤整備機構
15:35	旭化成提供講座
17:00	特別講演 「脳と環境」 茂木健一郎氏
18:20	塾生交流会 * 和太鼓演奏<熊本市立必由高等学校 和太鼓部>



大会の様子

9月10日(土)

8:00	<p>熊本大会事例体験</p> <p>A: 進化する「森の都」の象徴・熊本城</p> <p>講師：倉賀野昌弘氏(「くまもとよかところご案内人の会」会長)</p> <p>B: エネルギーのこれからを考える「エネルギー今昔ものがたり」</p> <p>講師：清水良郎氏(荒尾市教育委員会世界遺産推進室長)、今井亨氏(株式会社 LIXIL 金属・建材カンパニー生産本部西日本総括工場総務課長)</p> <p>C: 「水と生き、水を活かす」くまもとウォーターライフ</p> <p>講師：紫藤和幸氏(白川中流域水土里ネット協議会事務局長)</p> <p>D: 滞在交流型ネットワーク観光「阿蘇ゆるっと博」がめざすもの</p> <p>講師：坂元英俊氏(財団法人 阿蘇地域振興デザイン事務局長)</p>
13:10	ディスカッション
13:40	成果報告会
14:10	大会総括 茂木健一郎氏
14:50	閉会式



事例体験①



事例体験②



参加したメンバー

参加者報告

九州創発塾 2011 に参加して

長崎の町ねこ調査隊塾

江頭 節子

9月9日から10日にかけて創発塾の熊本大会へ参加させて頂きました。

昨今は地球環境を考える上で、温室効果ガスなどを削減し、地球温暖化防止に寄与する取り組みが多くなされようとしている中、3月の東日本大震災以降、原子力発電の是非が問われるなど、これまでにない深刻な状況になってきたように思います。

今回は宮崎県の間伐材や木屑等を細かく粉碎したバイオチップを石炭と混焼して発電させる旭化成の延岡発電所でのバイオマス発電の概要を知ることができ、大変興味深かった

です。九州の資源を生かすことにより、地方からいろんなことを発信していくことはとても力強いものを感じました。

両日総合コーディネーターの茂木健一郎さんのユーモアにあふれた人柄と惹きつけてやまない語りでとても楽しい時間を過ごせました。「根拠のない自信をもって向上心をもち、惜しみない努力をしよう！」とおっしゃった時には気持ちが明るくなりました。

混沌とした世の中にあり、これからどのような世界情勢になってゆくのか不安ではありますが、人ひとりが懸命に正しい道を歩む限り、英知で切り開かれていくのではないかと思います。

最後に熊本の滞在交流型ネットワーク観光「阿蘇ゆるっと博」の取り組みを知ることができとても良かったです。代表の坂元英俊氏の熱意が伝わってきました。常に柔和な笑みを浮かべておられる方で、このような企画も温かいおもてなしの心で成功させていかれるのだと感じました。

九州から活性化していくことは本当に素晴らしいと思います。今回はこのような有意義な時間を皆さんと共有することができ感謝しております。ありがとうございました。

九州創発塾に参加して得たもの

長崎の町ねこ調査隊塾

中島由美子

「九州創発塾」の創発とは「複数の部分が融合することで、単純な総和にとどまらない新しい高度な秩序やシステムが生まれること」を意味するらしい。わかるようなわからないような、曖昧な気持ちのまま熊本大会へ向かった。しかし、まさに「創発」そのものを実践している人々に出会い、目からウロコ

の発見を得た。それは大会2日目、事例体験の『滞在交流型ネットワーク観光「阿蘇ゆるっと博」がめざすもの』における報告である。

「地元の人に地元を好きになってもらうことから始まる」と「阿蘇ゆるっと博」の仕掛け人坂元英俊さんは語った。坂元さんは、寂れてシャッター商店街だった阿蘇市一の宮町門前町を、今では年間20万人が訪れる商店街に蘇らせている。もちろん、坂元さん一人の仕事ではない。町を元気にしたいと集まった店主たちが知恵と時間と労力を出し合い、坂元さんの助言を受けながら、自らの町を再生させた。門前町で食堂を営む宮本博史さんが、時には会場を爆笑の渦に巻き込みながら、その軌跡をわかりやすく語ってくれた。

基調講演の竹中平蔵氏がよどみなく語るグローバル経済も大切な視点かもしれない。が、自らの足元を見つめ、観光と地域づくりを融合させた阿蘇の実践は、長崎で、伝習所で、長崎の町ねこ調査隊塾で、今日からでも役立つヒントが散りばめられ、私にとって何よりの大きな収穫であった。

九州創発塾に参加して得たもの

孫文・梅屋庄吉と明治大正長崎事情塾

松本奈美

9月9日～10日の2日間、熊本で開催された九州創発塾に参加させていただきました。第1日目は、総合コーディネーターの茂木健一郎氏の「九州から行動する地域環境との共生」とのタイトルで始まりました。「郷土愛について」「3・11について」また「誇りとプライド」について、ご自分の子供のころの話をまじえたわかりやすい話しかたで語られました。JR九州博多駅の変化を例にあげ、子どもが遊べる場所を列車が見えるところに作

られたデザイナーのミトオカ氏の発想と変化について話されました。

竹中平蔵氏は、「震災後の日本の進路」と題して、“経済について” “今の内閣について” 語られました。世界の経済から、日本の震災後のビジョンまで細やかに話されました。今まで日本が世界に誇っていた「つなみ」「食品」「原子力」「安全」が尽くなくなってしまう。だが、地震から3分後に津波警報が出て、気象庁は10分後には警報を出していました。東北新幹線は27本すべてが地震が起きる10秒前には止まっていた。ガスもマイコンメーターになり安全に止まるようになっている。これらは日本だけの技術であり誇りである。これから日本がどう復興していくのか世界が見ている中で、強いリーダーシップが必要だということ。ゼロからの、ゼロだからできるビックピクチャーを描かなければならないということを強く語られました。

宮崎緑氏は「地球環境との共生“伝統”と“絆”がもたらすもの」として、今活動されている奄美について価値観の違いや地域力について語られました。

旭化成、水永氏は、バイオマスについて、木炭とチップを混ぜて発電するという新しい取り組みについて、また“あさひの森”事業についての話をされました。

1日目最後に、茂木氏から「脳と環境」についてプリンシプルとは原理、原則主義。成功させるには予測はしない。マッスルコンヒューション理論。毎日同じことを繰り返すと筋肉が覚えてしまっている。例えばトランプのハートが出たら腕立てふせ、スペードが出たら腹筋とか予測しないやりかた。筋肉に予測させない。自分にできないことを考え、自分を知り、必死に頑張り向上させる。それが

大事であるということ。自分がわからないことを認識することが大切だということでした。

2日目は事例体験Aの「進化する“森の都”の象徴・熊本城」に行きました。熊本よかご案内人のガイドの方による詳しい説明を聴きながら、西南戦争の火事から焼け残った400年前の宇土櫓を見学させていただきました。ガイドの方は、長崎さるくも勉強され、熊本にも採用させていただいたと話されていました。新しくオープンした城彩苑もあり、歴史について学ぶこともでき食することもできる施設で、特にリピーターの観光客にはうれしいと思いました。新しいスポットができ進化し続ける熊本城を確認することができました。

2日目総括 茂木氏 クオリア(質感)の重要性について

昔から人々が培ってきたものの大切さ、例えば京都・嵯峨野にとってつけたような芸能人のお土産やなどがあるだろうか？ 熊本城の本物にこだわり忠実に再現されたもの。本物に触れることの大切さ、質感の大切さ、本物を残していくことの大切さなど話されました。

この2日間の研修に参加させていただいて、今後どのような活かしていけるか考えてみました。長崎の観光や産業など、各自が持つノウハウや技術など地域と地域がお互いに持ち寄り、高めあい、長崎の昔からある観光地だけでなく、すみずみまで見てもらう、食べてもらう、体験してもらうことを掘り下げていかなければならないと思いました。

私たちの塾でいうならば、歴史を検証し、長崎の町中に眠り続けているものを探して見つけ出し、磨きなおして、表に出していくことではないかと思いました。長崎は西の端に

ありますが、行ってみたい町、懐かしい町、おいしい町、美しい町であり続けたいと思いました。そしてそのためには、何ができるかを考え、行動していかなければならないと思いました。この2日間の研修に参加させていただき、ほんとうにありがとうございました。

九州創発塾2011熊本大会に参加して 孫文・梅屋庄吉と明治大正長崎事情塾

日宇孝良

9月9~10日熊本市で開催された九州創発塾に参加した。午前10時開会に間に合うために長崎新聞社前を朝6時に出発。大会初日の午前中に「震災後の日本の進路」と題して竹中平蔵氏の講演があった。明快な論旨で質問への応答も見事であった。座右の書としてサミュエル・スマイルズの『自助論』を挙げたことと、小泉元総理を天才と表現したことが強く印象に残っている。午後の講演の締めくくりに、茂木敬一郎氏の特別講演『脳と環境』があった。氏の講演は話題が縦横無尽に飛び、それでいて、起承転結は見事に押えている。この方の頭の中はどうなっているのだろうと思う。ただ、あまりに知識に貪欲すぎて、かつ人が良すぎて、俗事に多くの労力を費やしているようにも見える。塾生交流会では2時間近く立ちっ放しで、ひたすらサインや記念撮影等アイドルなみのサービスに就いていた。

二日目は4つの分科会に分かれていて、私は事例体験Bのエネルギーのこれからを考える「エネルギー今昔ものがたり」の分科会に参加した。荒尾市の「三池炭鉱旧万田坑」と長洲町の大規模太陽光発電施設「有明ソーラーパワー」を見学した。それぞれ関係者による詳しいガイドや説明があった。往復のバス

の中では自己紹介や施設見学に関する意見交換がなされた。太陽光発電には皆高い関心を持っていたが、その採算性については、まだ明確な展望があるようには見えなかった。エネルギー問題は、日本の将来の経済的発展のみならず、日本人の生活の有様にも影響を与える問題であり、今後も注目していきたい。

このような機会を与您いただき、いろいろとお世話してくださった長崎新聞社と長崎伝習所の方々に感謝申し上げます。

参加者名簿

所 属	氏 名	事例 体験
孫文・梅屋庄吉と 明治大正長崎事情塾	日宇 孝良	B
	松本 奈美	A
長崎の町ねこ 調査隊塾	中島 由美子	D
	江頭 節子	D
事務局	大串 秀人	A
	吉岡 利章	A
	平井 敬晃	C

長 崎 伝 習 所 要 綱

(目的)

第1条 この要綱は、長崎伝習所（以下「伝習所」という。）を設け、市民と行政の有機的連携を強化することにより、人材の育成と政策を生み出す活動を行い、もって長崎の再生と創造に寄与することを目的とする。

(事業)

第2条 伝習所の事業は、おおむね次のとおりとする。

- (1) 長崎伝習所「塾」に関すること。
- (2) その他伝習所の目的を達成するために必要と認められる事業

(組織)

第3条 伝習所は、総長及び前条に規定する伝習所の事業を実施する者（以下「実施者」という。）で組織する。

- 2 総長は、長崎市長をもって充てる。
- 3 実施者は、総長が指名する者をもって充てる。

(総長)

第4条 総長は、伝習所の事業を総理し、伝習所を代表する。

- 2 総長に事故があるときは、あらかじめ、その指名する実施者がその職務を代理する。

(運営委員会)

第5条 伝習所に助言機関として運営委員会を置き、その組織、会議等については、別に定める。

- 2 運営委員は、総長が指名する者をもって充てる。
- 3 運営委員会は、伝習所の事業について助言することができる。

(資金)

第6条 伝習所の資金は、長崎市からの補助金、寄付金及びその他のものをもって充てる。

- 2 資金は、安全かつ確実な方法により管理するとともに、適正な執行に務めなければならない。

(事業年度)

第7条 伝習所の事業年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(決算)

第8条 伝習所は、毎事業年度の決算を翌年度の5月31日までに完結しなければならない。

(事務局)

第9条 伝習所の事務局を総務局企画財政部市民協働推進室内に置く。

(委任)

第10条 この要綱に定めるものを除くほか、必要な事項は別に定める。

附 則

この要綱は、平成3年5月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成3年8月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成10年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成20年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成21年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成23年8月1日から施行する。

長崎伝習所フォローアップ補助金交付要綱

(趣旨)

第1条 この要綱は、予算の定めるところにより、市民のまちづくりに関する研究、実践活動の振興を図り、もって長崎伝習所事業の目的である市民と行政のネットワークの形成に寄与するため、まちづくり市民団体に対し、長崎伝習所フォローアップ補助金（以下「補助金」という。）を交付することについて必要な事項を定めるものとする。

(定義)

第2条 この要綱において「まちづくり市民団体」（以下「団体」という。）とは、長崎伝習所「塾」事業において過去に採択されたテーマについて研究、実践活動を行うことを規約等に定めた団体で、かつ次の各号の全部に該当する団体をいう。

- (1) その構成員が10名以上であるもの
- (2) 年間を通して定期的な活動をする見込みのあるもの
- (3) その活動が公益的かつ人材育成に寄与するもの

(補助金の額等)

第3条 補助金の額及び補助の対象となる経費は、別表のとおりとする。

(補助金の交付申請)

第4条 団体は、補助金の交付申請を行うものとする。

2 前項の規定により補助金の交付申請を行う団体は、次に掲げる書類を添えて総長に提出しなければならない。

- (1) 補助金交付申請書（第1号様式）
- (2) 事業計画書（第2号様式）
- (3) 事業収支予算書（第3号様式）
- (4) 団体の規約
- (5) 団体の構成員名簿
- (6) その他総長が必要と認める書類

(交付の決定)

第5条 総長は、補助金の交付申請があったとき、当該申請に係る書類等の審査により、適正であると認められた時は、補助金交付決定通知書（様式第4号）を交付するものとする。

(補助金の交付)

第6条 この補助金は、概算払により交付するものとする。

(実績報告)

第7条 実績報告は、補助対象事業が完了した日から起算して1月以内又はその翌年度の4月5日までのいずれか早い日までに提出しなければならない。

2 実績報告は、次に掲げる書類を添えて総長に提出しなければならない。

- (1) 事業実績報告書（第5号様式）
- (2) 事業完了報告書（第6号様式）

- (3) 事業収支決算書（第7号様式）
- (4) その他総長が必要と認めるもの
（長崎市補助金等交付規則の準用）

第8条 この要綱に定めるものを除くほか、補助金の交付等にかかる事項については、長崎市補助金等交付規則（昭和63年長崎市規則第21号）の規定を準用する。この場合において、同規則中「市長」とあるのは「総長」と読み替えるものとする。
（委任）

第9条 この要綱の施行に関し必要な事項は、総長が定める。

附 則

この要綱は、平成6年5月23日から施行し、平成6年度の補助金から適用する。

附 則

この要綱は、平成20年6月10日から施行し、平成20年度の補助金から適用する。

別表（第3条関係）

種別	長崎伝習所フォローアップ補助金
補助金額	1団体1回目20万円を限度 1団体2回目10万円を限度
	補助対象経費から当該事業に係る収入を差し引いたものの4/5以内
補助制限	1団体2回限り
対象経費	報償費（外部の講師・専門家等への謝礼、調査・研究等にかかる報償費） 旅 費（外部講師の移動等にかかる運賃・宿泊費等、視察研修費） 需用費（教材費、文具等の消耗品費、パンフレット・チラシ等の印刷製本費） 役務費（通信運搬費、手数料、保険料等） 使用料・賃借料（会場使用料、車両・器具等の賃借料） その他の経費（その他総長が認めるもの）
対象外経費	団体の構成員による会合の飲食費 団体の構成員に対する人件費、謝礼等 団体の構成員に対する交通費、ガソリン代、駐車場代

備考 補助金額において、1,000円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てるものとする。

平成23年度版 ポスター・チラシ

● 「塾」テーマ募集

平成23年度
長崎伝習所
塾
テーマ
募集

1月21日(金)

【塾】とは？

【塾】とは、塾生が主体的に学び、先生がサポートする学習環境のことです。...

【塾】のメリット

【塾】のデメリット

【塾】の活動内容

【塾】の募集方法

【塾】の問い合わせ先

平成23年度 長崎伝習所「塾」募集要項(概観)

1 募集対象

2 募集内容

3 募集活動の目的

4 募集活動のスケジュール

5 募集活動の進捗確認・改善のための内容

▲ チラシ(A3 両面)

● 塾生募集

平成23年度
長崎伝習所
塾生募集

4/30

【塾生募集】とは、長崎を舞台に活躍する塾生を募集することです。...

【塾生募集】のメリット

【塾生募集】のデメリット

【塾生募集】の活動内容

【塾生募集】の募集方法

【塾生募集】の問い合わせ先

▲ チラシ(A3 両面)

● 長崎伝習所まつり

平成23年度
長崎伝習所
まつり

3/20

【長崎伝習所まつり】とは、長崎を舞台に活躍する塾生を募集することです。...

【長崎伝習所まつり】のメリット

【長崎伝習所まつり】のデメリット

【長崎伝習所まつり】の活動内容

【長崎伝習所まつり】の募集方法

【長崎伝習所まつり】の問い合わせ先

▲ ポスター(A1)

▲ チラシ(A4 両面)

■ PRグッズ ■

● まいちに denden シール



▲ 円形シール：直径 2.5cm(1 シート 20 枚)

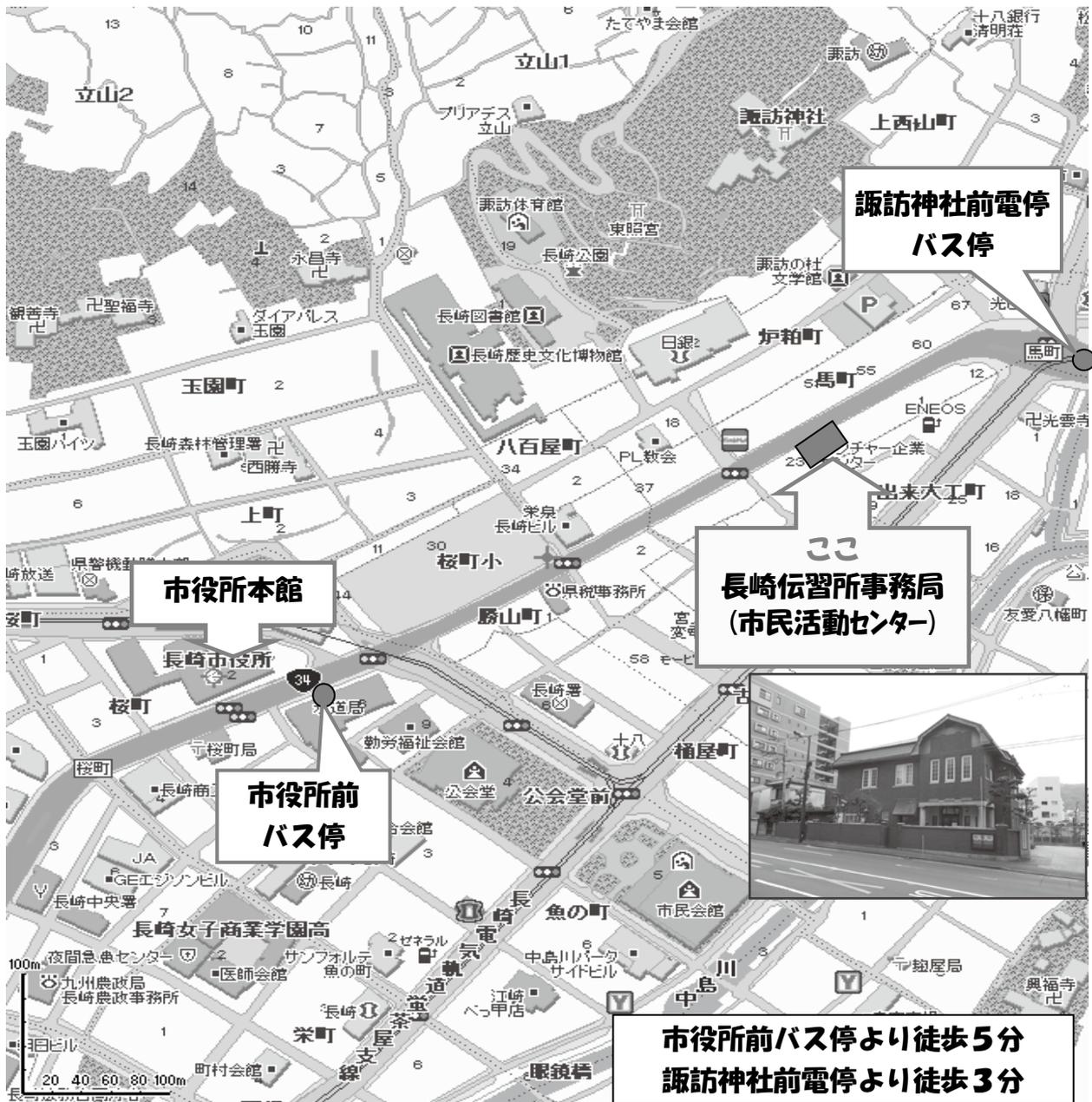
● denden ストラップ



▲ 円形本体：直径 2.7cm(磁器)

● denden バックバナーパネル





「長崎伝習所」平成 23 年度研究成果報告書

発行：平成 24 年 3 月

編集：〒850-0022

長崎市馬町 21-1 長崎市市民活動センター内

長崎伝習所事務局（長崎市総務局企画財政部市民協働推進室内）

TEL 095-829-1125 FAX 095-829-2925

E-mail denshusho@city.nagasaki.nagasaki.jp

ホームページ <http://www1.city.nagasaki.nagasaki.jp/denshusho/>

